

これが私の「売り」!!

園芸作物の生殖生理に関する研究 氏名 池田 和生

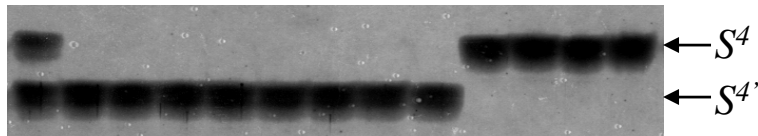


開花期のブルーベリー
(左)とビバーナム‘ス
ノーポール’ (右)



カンキツから単離したFT遺伝子を遺伝子組み換えによりセイヨウナシに導入(拡大図)

接ぎ木1ヵ月後に開花した, 花成制御遺伝子導入セイヨウナシ



甘果オウトウの自家和合性判別DNAマーカー
S⁴ : 自家不和合性 S^{4'} : 自家和合性突然変異

内容; 園芸作物, 特に果樹は幼若期間が長く, 播種から開花・結実まで非常に長い時間がかかります. したがって, 新たに交配して得た実生の花や果実の形質がわかるまでかかる時間も長くなります. そういった欠点を, DNAマーカーを利用した早期判別法や遺伝子導入による幼若期間の短縮といった手法を用いて改善していく研究を進めています.

また, 栽培技術や分子生物学的手法を用いて, 園芸作物の開花期の判定や制御を行う技術の開発も目指しています.

さらに, 附属フィールド科学センターという立地を生かして山形の在来作物の収集・維持にも取り組んでいます.

所 属; やまがたフィールド科学センター
エコ農業部門(高坂農場)

専 門; 果樹園芸学

自己紹介; 目標は1日果実200gを食べること

連絡先; TEL 0235-24-9982

e-mail kikedaa@tds1.tr.yamagata-u.ac.jp

